

報告第12号

豊岡まちづくり株式会社第23期の決算及び第24期の事業計画に関する  
書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

平成30年6月1日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

豊岡まちづくり株式会社経営状況説明書

平成30年5月31日

豊岡まちづくり株式会社

# 事 業 報 告

## 第 2 3 期

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

兵庫県豊岡市大磯町1番79号

豊岡まちづくり株式会社

## 第23期（平成29年度）事業報告

### 事業概況

平成29年度におきましては、前年度同様地場産業の底堅い景況感はなく、明確な景気動向が見られない状態であります。その中で観光地城崎温泉では新しさと郷愁の温泉情緒を創り上げ好調な集客を実現されています。しかしながら、ここカバンストリートにおきましてはインバウンドのお客様を含めて十分な誘客が出来ず、弊社アルチザンにおきましても、来客者は前年度より2割減の13,500人に止まりました。

今年度の当社の事業としましては前年度と同じく、アルチザン事業ではネットショップ販売を含めたショップ販売のアトリエ部門、靴職人養成スクールと豊岡市の委託業務であります靴企業社員向けの財布革小物講座のスクール部門、同じく豊岡市の委託業務であります学校給食配送事業の学校給食配送部門の2事業3部門となりました。

アルチザン事業アトリエ部門におきましては、来客数の明確な減少傾向が見られ、ショップ直販売上の減少に直結しております。当店を含めたカバンストリートへの訪問客の大半は城崎の観光客の方で、城崎の盛況をみますと、城崎よりの観光客の誘引が十分行えていない現状が見えて参ります。

カバンストリーートの認知度を上げるべく、幹線道路沿いにカバンストリーートの案内看板の設置の取組みを行っており、また近隣のショップにもご協力を頂き「カバストジャーナル」という大型の案内パンフを作成して城崎の旅館や各道の駅等へ配布し、カバンストリーートの魅力の発信と認知度の向上に努めております。

また、ショップでは季節感を持った商品構成でマンネリ化せず、リピーターの方にも新鮮な店舗空間が提供できるよう努めております。各メーカーの新作と共に兵庫県靴工業組合による企画商品で、赤色を基調にした靴「レッドコレクション」や井原デニムのデニム生地とコラボレーションした新作靴などを投入しております。

その他、売上増と販売チャネルの多様化を図るべく、関東を中心に神戸靴店のチェーン展開をしているフリップ社と販売契約を結び、12月より豊岡カバンの提供を始めました。また、じばさん但馬の豊岡ふるさと納税の贈答品としても商品提供をしました。

ネットショップでは8月頃からは兵庫県靴工業組合のオフィシャルECサイトをアルチザンで取り扱うことになり、直販の売上減を補い更なる売上増を目指して、ユーザーの購買意欲にフィットすべく、きめ細かいサイト更新で運営を行っております。

アルチザン事業スクール部門につきましては、スクールⅠの靴職人養成スクール業務とスクールⅡの靴企業社員向け財布革小物講座業務を行っておりますが、スクールⅠでは、平成29年度の入学生は福岡県や長野県など全国から、1名のUターン者を含め8名の生徒が豊岡へ集まりました。1年間帆布物から革物まで靴作りに励み、その内4名が豊岡の靴企業へ就職をしました。講師陣は主任の講師と、平成28年度の卒業生が講師補助として当社へ就職をし、また、

東京からの短期デッサン担当の講師を加えて3名体制となりました。

スクールⅡとして、国の助成金を利用した豊岡市の「革製鞆・革小物生産能力育成業務」の委託事業が3年目となりました。東京より財布造りの講師を招き、鞆企業の社員の方、延べ17社18名が自社での財布事業の立ち上げを目指して受講されました。今年度は企業内での生産を前提とした、サンプル作り講座や量産講座を行いまして、実際に自社で生産をされる企業も出てきております。豊岡が鞆作りだけでなく、財布作りとしても産地になれるよう挑戦が始まっています。

その他、昨年に引き続き3月18日には当スクールにて、日本鞆ハンドバッグ協会主催の技術認定試験が行われました。これも、豊岡の地が鞆職人の養成に一生懸命取り組んでいる成果と考えます。

豊岡市の委託業務であります学校給食配送事業の学校給食配送部門につきましては、3年契約の3年目となりまして、1年間学校給食を市内の小学校6校、中学校3校へ遅滞なく安全無事故で届けることが出来ました。

#### 部門別業績状況

アルチザン事業アトリエ部門ではショップ販売売上におきまして年度初めより対前年を下回り、その後秋以降持ち直しの傾向は見られたものの年間では8,941千円の減となりました。後半積極的に新作の投入や大型パンフレットによる集客対応等を行ったものの、大きな改善には至りませんでした。

一方ネットショップでは、兵庫県鞆工業組合のオフィシャルネットサイトを取り扱うことになり、サイトの再構築をして売上増を目指しました。秋以降売上が顕著に増え月2,000千円前後の売上を上げるまでになり、ショップ直販減をカバーするまでになりました。その他チェーン展開を目指すフリップ社への売上が5,284千円あり、トータルではアトリエ部門の純売上高は対前年7,978千円増(11.6%増)の7,621千円になりました。

また、売上原価は43,111千円、販売費及び一般管理費は30,265千円となり、営業利益は対前年44千円減(1.3%減)の3,244千円となりました。

アルチザン事業スクール部門Ⅰは定員の10名の合格者でスタートしましたが、家庭の事情により2名の退学者が出て前年度と同じく8名となりました。

よって、スクール生による授業料等の収入による純売上高は対前年256千円増(2.5%増)、10,648千円となり、販売費及び一般管理費は対前年ほぼ同額の76千円増(0.7%増)の10,717千円となり営業利益は対前年同様のマイナスで、営業損失68千円となりました。

アルチザン事業スクール部門Ⅱは市の委託業務の「豊岡市革製鞆・革小物生産能力育成」業務の3年目で、収入は市の委託料12,078千円と鞆企業からの講座参加料3,400千円となりました。純売上高は対前年569千円増(3.8%増)の15,478千円となりました。販売費及び一般管理費は今年度東京からの講師1名の期間が短くなり業務委託費が減り、対前年966千円減(7.3%減)の12,246千円となり、営業利益は対前年1,535千円増(90.4%増)の3,232千円となりました。

学校給食配送事業給食配送部門につきましては、3年間の業務期間の3年目となり、受託料は前年同様の11,500千円で、純売上高も11,500千円となりました。学校給食の配送業務は4台の給食配送車を使用し、12名の従業員によって市内の小中学校9校へ給食を配送しました。今期も1年間遅配等のトラブルもなく、安全運転を徹底して無事故で終えることが出来ました。

販売費及び一般管理費は対前年156千円増(1.5%増)の10,578千円となり、営業利益は対前年より若干減り、156千円減(14.5%減)の922千円となりました。

### 総合業績状況

事業全体では、今期の純売上高は対計画においてはアトリエ部門のショップ直販売上の減とスクール部門Ⅰでの授業料収入の減、社員講座参加料の減などで3,376千円及びありませんでしたが、対前年ではネットショップ売上の増などアトリエ部門の増収が大きく、またスクールⅠ、スクールⅡも若干の増収となり、部門合計で8,802千円増(8.3%増)の114,249千円と1億1千万円台になりました。

売上原価につきましては、アトリエ部門の売上がありましたので、対前年4,513千円増(11.7%増)の43,111千円となりました。

また、販売費及び一般管理費ではアトリエ部門のECサイト販売増強の為のネット構築費やネットショップ販売手数料の増があり、対前年2,773千円増(4.5%増)の63,808千円となりました。

よって、営業利益は対前年1,514千円増(26.0%増)の7,330千円となりました。

また、雑収入として日本皮革産業連合会の皮革製造技術者養成支援助成金1,500千円や豊岡市の販路拡大補助金300千円等補助金収入が2,063千円ありましたが、前年度までありました兵庫労働局の地域雇用奨励金1,800千円等がなくなり、経常利益は対前年467千円減(4.7%減)の9,394千円となりました。

税引前当期純利益は固定資産売却損があり9,169千円となりました。

税引後当期純利益は法人税、住民税及び事業税が1,945千円となりましたので、対前年9千円増(1.3%増)で、7,224千円の増収増益となりました。

これにより、繰越利益剰余金の累積赤字額11,756千円が4,532千円に縮小改善されました。

事業につきましては、アトリエ部門の柱でありますショップ直販の売上減はありましたが、ネット販売業務がもう一つの柱になりつつあり、フリップ社との新規取引等、業務の多様化が図られ、新たな事業展開に向けて動き出した1年でもありました。

また、スクール事業におきましても、稽古堂で開催します生徒の作品展示会の製作鞆のレベルが毎年上がっているとの評価を頂いております。これも講師と生徒が熱意をぶつけ合った鞆作りの成果が、毎年積み上げられて来たものではないかと感じております。今年度も8名の卒業生の内4名が豊岡の鞆企業に次代の鞆職人となるべく希望をもって就職しました。他の4名も1年間

の成果を持って東京を始め各地に巣立っていきました。こうしてアルチザンスクールの生徒が、毎年全国で根付いて行っております。

また、財布革小物講座では、東京からの講師と靴企業の社員が財布作りの技術の習得に頑張りました。その中には既に財布の受注生産を始めている企業も出てきております。今後も財布作りが豊岡の靴産業の中に根付くことを目指して取組んで参ります。

学校給食配送事業につきましては、豊岡の子供たちが健やかに成長することを願い、その思いを持ちながら、事故のない配送業務を心掛けて参りました。

アルチザン事業を立ち上げて4年が経ち、カバンストリートを始め、周りの商店街や靴店舗の皆様と歩みを積み重ねております。これも株主の皆様や関係各位の皆様のご理解とご協力のお陰と感謝申し上げます。来期はアルチザン事業も5年目になり、新たな方向性を見定めて前進させる段階に入っていると考えます。そのことを踏まえ、来期におきましても各事業を推進することが街づくりに資するものと考えます。全部門共更なる業績向上を目指し、役職員一丸となって邁進して参ります。

以上

事業（営業）報告資料

1. 事業（営業）実績

◇売上高の推移

(単位：千円)

区 分		第20期 (平成26年度)	第21期 (平成27年度)	第22期 (平成28年度)	第23期 (平成29年度)
アルチザン事業		66,136	83,526	93,947	102,749
内訳	アトリエ	58,294	70,489	68,644	76,621
	スクール	7,842	13,037	25,303	26,127
かばん販売事業		1,324	—	—	—
学校給食配送事業		13,844	7,000	11,500	11,500
合 計		81,306	90,526	105,447	114,249

◇営業成績の推移

(単位：千円)

区 分	第20期 (平成26年度)	第21期 (平成27年度)	第22期 (平成28年度)	第23期 (平成29年度)
営業利益	△234	7,589	5,814	7,330
経常利益	4,175	12,922	9,861	9,394
当期純利益	3,964	11,859	7,124	7,224
総資産	72,699	86,812	101,928	110,236
純資産	61,059	72,919	80,043	87,267

2. 会社の概要（現況）

(1) 資本金

資 本 金	91,800千円
-------	----------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,836株
内 豊岡市保有分	918株
内 豊岡商工会議所保有分	502株



(3) 役員の状況

	役 職 名	役 員 名
1	代表取締役	ゆり とうたろう 由利 總太郎
2	取 締 役	あさひ けんじ 朝日 健司
3	取 締 役	うえだ あつし 上田 篤
4	取 締 役	いわた しょういち 岩下 省一
5	取 締 役	うの たかや 卯野 隆也
6	取 締 役	きぬがわ かつのり 衣川 克典
7	取 締 役	きわだ やすし 木和田 泰司
8	取 締 役	はしもと かずのり 橋本 和則
9	取 締 役	さとう よしき 佐藤 芳樹
10	取 締 役	はしもと たかふみ 橋本 隆史
11	取 締 役	えんどう げんいちろう 遠藤 玄一郎
12	監 査 役	うきた まさひこ 浮田 昌彦
13	監 査 役	はぶた はじめ 土生田 哉

(4) 社員（従業員）の状況

区 分	人数	構成
社 員	6	男 4名、女 2名
パート	13	男 12名、女 1名
合 計	19	

## 貸借対照表

平成 30年 3月31日 現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 92,152,452】	【流動負債】	【 17,683,088】
現金・預金	75,082,673	買掛金	6,199,438
売掛金	8,285,613	未払費用	476,676
商品・製品	6,623,490	未払金	2,072,708
材 料	561,052	未払法人税等	580,000
貯蔵品	1,601,964	未払消費税等	1,845,500
仮払金	79,660	前受金	6,380,000
貸倒引当金	△82,000	預り金	128,766
【固定資産】	【 18,084,341】	【固定負債】	【 5,285,793】
[有形固定資産]	[ 13,811,537]	長期未払金	5,285,793
建 物	810,129		
建物附属設備	193,712	負債合計	22,968,881
構 築 物	1	純資産の部	
工具器具備品	12,506,894	【株主資本】	【 87,267,912】
土 地	300,801	[資本金]	[ 91,800,000]
[無形固定資産]	[ 1,002,604]	[利益剰余金]	[ △4,532,088]
ソフトウェア	702,668	(その他利益剰余金)	( △4,532,088)
電話加入権	299,936	繰越利益剰余金	△4,532,088
[投資その他の資産]	[ 3,270,200]	(うち当期純利益)	( 7,224,003)
出 資 金	30,200		
保 証 金	3,240,000	純資産合計	87,267,912
資産合計	110,236,793	負債・純資産合計	110,236,793

# 損 益 計 算 書

自 平成 29年 4月 1日

至 平成 30年 3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【純 売 上 高】		
アルチザン事業収入	102,749,424	
学校給食配送事業収入	11,500,000	114,249,424
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	6,960,581	
仕 入 高	43,335,242	
合 計	50,295,823	
期 末 棚 卸 高	7,184,542	43,111,281
売 上 総 利 益		71,138,143
【販売費及び一般管理費】		63,808,032
営 業 利 益		7,330,111
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	3,123	
受 取 配 当 金	600	
雑 収 入	2,060,191	2,063,914
経 常 利 益		9,394,025
【特 別 利 益】		
貸倒引当金戻入益	5,000	5,000
【特 別 損 失】		
固定資産売却損	229,629	229,629
税引前当期純利益		9,169,396
法人税、住民税及び事業税		1,945,393
当 期 純 利 益		7,224,003

## 販売費及び一般管理費

自 平成 29年 4月 1日

至 平成 30年 3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
給 料 手 当	26,330,790	
業 務 委 託 費	8,416,596	
法 定 福 利 費	2,843,026	
福 利 厚 生 費	202,587	
広 告 宣 伝 費	3,533,743	
運 賃	693,965	
旅 費 交 通 費	1,570,236	
交 際 費	376,968	
会 議 費	64,654	
車 輛 管 理 費	1,742,900	
通 信 費	300,171	
水 道 光 熱 費	1,484,830	
租 税 公 課	726,800	
消 耗 品 費	1,076,163	
事 務 費	1,335,940	
賃 借 料	555,564	
車 輛 賃 借 料	1,417,779	
修 繕 費	491,400	
保 險 料	830,213	
支 払 手 数 料	3,866,876	
負 担 金	200,229	
減 価 償 却 費	2,355,273	
リ ー ス 料	307,200	
寄 附 金	5,300	
教 材 費	2,562,392	
雑 費	516,437	63,808,032
合 計		63,808,032

部 門 別 損 益

自平成29年 4月 1日 至平成30年 3月31日

(単位：円)

	総 合 計	アルチザン・ アトリエ部門	アルチザン・ スクール部門	学校給食配送 事業部門
I 売上高	114,249,424	76,621,725	26,127,699	11,500,000
II 売上原価	43,111,281	43,111,281	0	0
III 売上総利益	71,138,143	33,510,444	26,127,699	11,500,000
IV 販売費及び一般管理費	63,808,032	30,265,999	22,963,918	10,578,115
V 営業利益	7,330,111	3,244,445	3,163,781	921,885

## 株主資本等変動計算書

自 平成29年 4月 1日  
至 平成30年 3月31日  
(単位：円)

	株 主 資 本				株主資本合計	純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金		利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金	利益剰余金			
当期首残高	91,800,000	△ 11,756,091	△ 11,756,091	△ 11,756,091	80,043,909	80,043,909
当期変動額						
当期純利益		7,224,003	7,224,003	7,224,003	7,224,003	7,224,003
当期変動額合計	0	7,224,003	7,224,003	7,224,003	7,224,003	7,224,003
当期末残高	91,800,000	△ 4,532,088	△ 4,532,088	△ 4,532,088	87,267,912	87,267,912

## 個 別 注 記 表

自 平成 29年 4月 1日  
至 平成 30年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

### 2. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法

無形固定資産・・・定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について  
法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引  
については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

### 3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 6,039,137円

### 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 当期末発行済株式数 1,836株

### 5. その他の注記

(1) 国庫補助金等で取得した固定資産について、取得価額から次の圧縮記帳額を  
控除しております。

土地	26,066,398円
建物	71,248,946円
建物附属設備	25,744,945円
その他固定資産	19,711,283円
計	142,771,572円

## 監査報告書

豊岡まちづくり株式会社 様

### 監査の結果

私監査役は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの第 23 期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告致します。

尚、当会社の監査役は、定款第 4 条の定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されている為、事業報告を監査する権限は有しておりません。

#### 1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の状況を聴取し、会計に関する重要書類等を閲覧致しました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書）及びその附属明細書について検討致しました。

#### 2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適法かつ正確に表示しているものと認めます。

平成 30 年 5 月 8 日

監査役

浮田 昌彦

工生田 哉



## 第24期（次期）事業計画及び収支計画

平成30年度の当社事業は前期と同様、アルチザン事業のアトリエ部門とスクール部門、そして学校給食配送事業の学校給食配送部門の2事業3部門となります。

### ◇アトリエ部門につきましては

豊岡カバンのランドマークとしてのアルチザン直販店を核とし、販売チャネルの多様化によりお客様の購買動機を機敏に捉えて売上を伸ばして行きたいと考えております。平成29年度には兵庫県鞆工業組合のオフィシャルサイトとしてECサイトをリニューアルし、お陰をもちましてネットショップの直近売上では月額2百万円を超えるまでになってきております。今期は更に月額3百万円を目標にしており、ショップと共に販売の2本柱となるべく運営強化をして参ります。

また、平成29年12月には豊岡鞆店のチェーン展開を目指しておりますフリップ社と販売契約を結び、今では月間1百万円前後まで売上を伸ばしてきており、平成30年度におきましては店舗毎の売上増と共に新規増店を目指しておりますので、当社としましても販売情報の提供など協力して参りたいと考えております。

その他、デパート催事販売、城崎の鞆販売店「蔵」、豊岡ふるさと納税への商品提供などを行っております。

アトリエ部門売上におきましては、ネット販売が軌道に乗り大きく伸びるものと見込んでおり、ショップ販売との2つの柱を中心にして、純売上高を対前年24,088千円増（31.4%増）の100,710千円と見込んでおります。また、販売費及び一般管理費はネット売上増による運営会社への支払手数料や人件費が増加するものと考え、対前年4,093千円増の（13.5%増）の34,359千円と見込み、営業利益を7,238千円と想定しております。

### ◇スクール部門につきましては

スクールⅠの鞆スクールとスクールⅡの鞆企業社員向けの財布講座の2業務があり、平成29年度のアルチザンスクールは8名の生徒が卒業し、内4名が豊岡の鞆企業などへ就職をしました。全国からアルチザンスクールへの関心が高く、また鞆企業からのスクール生への期待も高いので、平成30年度は10名の定員のところ、教室スペースを改修して広げ12名に増員しました。新入生12名の内3名は家族での移住で、全生徒の決意の強さとアルチザンスクールへの期待の高さを感じ、その期待に応えるべく運営にあたっております。講師は豊岡出身の主任講師と、東京からのデッサン・デザインの短期特別講師、当校卒業の講師補助、合せて3名が鞆作りを一から教えて行きます。その他、豊岡市長始め、特別講師の講義も設けており、鞆作りだけではなく、原価計算から鞆業界の現状、豊岡市の目指すものなど広く学んで頂きます。

また、豊岡を財布作りでも生産地にしたいとの思いから平成28年1月に始まった、豊岡市の委託事業「豊岡市革製鞆革小物生産能力育成」業務も4年目を迎えます。今期も東京か

ら財布職人の講師に来て頂き、受注生産を目指した財布量産講座などに取組んで参ります。

収益につきましては、前年より生徒が4名増となり授業料等収入の増で、2,415千円増(9.2%増)の28,543千円と見込んでおります。販売費及び一般管理費は前年よりやや増の23,690千円と見込み、営業利益は4,853千円と想定しております。

#### ◇学校給食配送部門につきましては

平成29年度で2年8ヶ月の豊岡市との契約が終了し、平成30年度は新たな契約となりますが、4月から7月までは当社にて契約をして頂き、8月以降につきましては、改めて入札が行なわれ委託業者が決定されます。よって8月以降は未定であります。当事業計画では1年間、当社が業務を遂行した場合を想定し事業計画を行っております。4ヶ月間の委託料は4,276千円となっており、営業利益は2,686千円と想定しております。

業務に関しましては、4月より給食配送車両が新車となり、配送スタッフには操作講習を開催して早期に習熟してもらい、安全運行を徹底しております。また、日々無事故運行を心掛け、生徒児童へ安心安全に給食を届けることに専心致します。

#### ◇総合収支計画

総合では、純売上高はアトリエ部門のネット売上やスクール収入等の売上増を見込み、対前年28,011千円増(24.5%増)の142,260千円と想定しております。

売上増に伴い売上原価は対前年16,002千円増(37.1%増)の59,113千円と見込み、販売費及び一般管理費は対前年4,562千円増(7.1%増)の68,370千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年7,447千円増(101.6%増)の14,777千円と想定しております。

また、営業外収益としまして、兵庫県鞆工業組合よりの委託料、その他の雑収入を含めまして1,245千円を見込み、経常利益は対前年6,628千円増(70.6%増)の16,022千円を想定しております。

税引前の当期純利益につきましても同じく16,022千円と想定しております。

アルチザン事業も、平成26年の新規オープン時では、ショップ直販とアルチザンスクールが業務の中心でありましたが、5年目を迎える今、運営業務はネットショップや財布講座開催など多様化しております。そのような中で累積損失の解消も目前となって来ました。これも、偏にカバン業界や各商店街振興組合、行政また多くの方々のご支援の賜ものと感謝致します。

豊岡市からも、鞆を核とした街づくりを見据え、豊岡まちづくり(株)が更にこの鞆事業への方向性を深化拡大することが、豊岡市の発展に資することになるとの考えを頂いております。

既に兵庫県鞆工業組合とは、組合の商品開発委員会への参加や、あるいは財布革小物講座運営でも協力を頂いたりしており、今後はより広く鞆企業との協働を行い、「鞆」を核とした街づくり事業に特化して参ります。

また、学校給食事業におきましても行政と連携をさせて頂きながら、今までの蓄積された

ノウハウを持って安心安全に努め、児童、生徒の皆さんの健康に寄与出来るよう頑張っております。

新たな平成 30 年度におきましても、役職員一丸となって業績向上に向けて邁進して参りますので、引き続きご指導ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

以上

## 第24期(平成30年度)収支事業計画

豊岡まちづくり株式会社

税抜(千円)

科 目	第23期	対 前 期		第24期
		増 減 額	増 減 率	
純売上高	114,249	28,011	24.5%	142,260
売上原価	43,111	16,002	37.1%	59,113
販売管理費	63,808	4,562	7.1%	68,370
営業利益	7,330	7,447	101.6%	14,777
営業外収益	2,064	-819	-39.7%	1,245
営業外費用	0	0	0.0%	0
経常利益	9,394	6,628	70.6%	16,022
特別利益	5	-5	-100.0%	0
特別損失	230	-230	-100.0%	0
税引前純利益	9,169	6,853	74.7%	16,022

報告第 13 号

一般社団法人豊岡観光イノベーション第 2 期の決算及び第 3 期の事業  
計画に関する書類について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、別紙の  
とおり報告する。

平成 30 年 6 月 1 日

豊岡市長 中 貝 宗 治

# 決算等の状況の報告

一般社団法人豊岡観光イノベーション

## 事業の概要と成果

当法人は、「観光まちづくりの観点から、当該地域の関係者の力を結集し、顧客視点に立ち、地域の魅力を再編集して、地域の稼ぐ力を引き出し、地域経済の活性化に寄与することを目的」に平成28年6月1日に設立しました。

第2期目となる2017年度は、WEBマーケティング、海外発のツアー造成促進、着地型ツアー・体験プログラムの造成、インナープロモーションに力を入れて取り組みました。

WEBマーケティングについては、活動の結果、外国人観光客向けWEBサイト「Visit Kinosaki」へのアクセスが拡大し、ページビューは 昨年比1.4倍の613,888PVとなりました。また、登録旅館数は、昨年比1.2倍の84軒になり、宿泊予約金額は昨年比1.7倍の16,886,658円と順調に伸びております。

海外発のツアー造成促進については、旅行会社への営業を本格的に開始し、2017年度は延べ58社を訪問しました。結果、マレーシア、シンガポール、フランスからの旅行商品が造成されました。

着地型ツアー・体験プログラムの造成につきましては、地元の観光事業者様と連携し、35商品を造成・販売しました。2016年度に販売開始した「1日1組限定の但馬空港まるごと見せちゃいます企画」は、2017年度も人気商品となり、270名にご参加いただきました。2017年度の新たな商品の一つとして、出石をハブにしたバスツアーを販売開始しました。これは、出石地域において課題となっている団体バスの減少への対策として、出石地域と当法人が共同で開発したプログラムで、浸透するまでには時間を要し、集客はできませんでしたが、継続的に取り組み、地域の課題解決に貢献したいと考えています。また、コウノトリ生息地保全活動に取り組んでいただくCSR活動支援プログラムを企画し、大手企業1社の社員とご家族、95名にご参加いただきました。引き続き、コウノトリ野生復帰の取り組みに共感いただいている企業に対してアプローチしてまいりたいと思います。

インナープロモーションについては、2つの新たな取り組みを始めました。一つは、地域の稼ぐ力を促進する「観光まちづくりセミナー」、もう一つは、訪日インバウンドや豊岡市のインバウンド現状、当法人の活動を報告する「ニュースレター」の発行です。これらの取り組みが功を奏し、賛助会員は20団体増加し、36団体となりました。

損益状況は、営業損失15,132千円、営業外収益10,265千円となり、当期経常損失は4,866千円、税引後の当期純損失は、4,949千円でした。

関係者の皆様方の暖かいご支援、ご協力をいただき役員・職員日々業務に取り組ましました。

一般社団法人豊岡観光イノベーション 組織概要

1. 設立日

平成28年6月1日（水）

2. 社員

豊岡市

WILLER株式会社

全但バス株式会社

株式会社但馬銀行

但馬信用金庫

3. 役員（平成30年5月29日改選）

理事長 中貝 宗治

副理事長 前野 文孝

事業本部長 藤田 尚宏

理 事 村瀬 茂高

桐山 徹郎

倉橋 建

宮垣 健生

武田 和徳

大社 充

小林 辰美

監 事 作花 良祐

4. 事業本部職員

事業本部長（理事）1名

派遣職員 5名

嘱託・臨時職員 2名

5. 基金拠出額

28,700 千円



決 算 報 告 書

第 2 期

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

(一社)豊岡観光イノベーション  
 貸借対照表  
 平成30年 3月31日 時点

単位:円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	21,644,897	I 流動負債	4,852,202
1 現金	30,446	1 未払金	1,187,793
2 預金	6,696,747	2 未払法人税等	82,000
3 売掛金	90,552	3 前受金	40,000
4 前払金	35,292	4 預り金	70,446
5 未収入金	14,791,860	5 仮受金	3,471,963
II 固定資産	3,759,454	II 固定負債	0
1 有形固定資産	146,120	負債合計	4,852,202
・ 一括償却資産	146,120	純資産の部	
2 無形固定資産	613,334	I 純資産	20,552,149
・ ソフトウェア	613,334	1 基金	28,700,000
3 投資その他の資産	3,000,000	2 利益剰余金	△ 8,147,851
・ 差入保証金	3,000,000	・ 繰越利益剰余金	△ 8,147,851
		純資産合計	20,552,149
資産合計	25,404,351	負債・純資産合計	25,404,351

(一社)豊岡観光イノベーション  
損益計算書

自平成29年 4月 1日  
至平成30年 3月31日

単位:円

科目	金額	備考
I 純 売 上 高		
1) Visit Kinosaki 手数料	731,299	
2) ツアー等売上高		
・ 着地型ツアー、体験プログラム	188,108	
・ ふるさと納税返礼品プログラム	30,580	
・ グループツアー	5,089,216	
・ 出石ツアーバス集約事業	15,000	
・ CSR 活動 支援	941,900	
3) 視 察 売 上 高	1,241,420	
4) 会 費 収 入	1,190,000	小計 9,427,523
5) 委 託 料 収 入		
・ Visit Kinosaki 運用	1,760,000	
・ 神鍋インハウントプロジェクト	3,013,200	
・ 観光施策評価指標データ収集	2,160,000	
・ 創業支援セミナー	600,000	
・ フラップトヨオカ管理運営	269,070	小計 7,802,270
	<u>17,229,793</u>	
II 売 上 原 価		
1) ツアー関連経費		
・ 着地型ツアー、体験プログラム	47,544	
・ グループツアー	4,495,108	
・ 出石ツアーバス集約事業	1,500	
・ CSR 活動 支援	907,315	
2) 視 察 関 連 経 費	101,880	5,553,347
	<u>11,676,446</u>	
III 販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費		
1) 給 料 手 当	4,352,594	
2) 賞 与 手 当	648,400	
3) 法 定 福 利 費	803,089	
4) 広 告 宣 伝 費	3,267,425	
5) 旅 費 交 通 費	2,633,250	
6) 交 際 際 費	251,643	
7) 会 議 費	131,160	
8) 車 両 費	195,950	
9) 通 信 費	487,357	
10) 水 道 光 熱 費	257,785	
11) 租 税 公 課 費	37,350	
12) 消 耗 品 費	444,601	
13) 共 益 費	240,000	
14) 賃 借 料	1,392,000	
15) リ ー ス 料	642,114	
16) 保 険 料	150,360	
17) 支 払 手 数 料	1,226,360	
18) 諸 会 費	1,350	
19) 減 価 償 却 費	285,244	
20) 委 託 費	9,360,000	26,808,032
	<u>▲ 15,131,586</u>	
IV 營 業 外 収 益		
1) 受 取 利 息	186	
2) 市 補 助 金 収 入	10,000,000	
3) 雑 収 入	264,926	10,265,112
	<u>▲ 4,866,474</u>	
経 常 純 利 益		▲ 4,866,474
税 引 前 当 期 純 利 益		82,028
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 利 益		<u>▲ 4,948,502</u>

## 個 別 注 記 表

自 平成 29年 4月 1日  
至 平成 30年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
  - (1) 固定資産の減価償却の方法
    - 有形固定資産・・・定率法
    - 無形固定資産・・・定額法
  - (2) 消費税等の会計処理
    - 消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

別紙の通り報告致します。

平成 30年 5月29日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

代表理事	中 貝 宗 治
理 事	真 野 毅
理 事	村 瀬 茂 高
理 事	桐 山 徹 郎
理 事	倉 橋 建
理 事	宮 垣 健 生
理 事	武 田 和 徳
理 事	大 社 充
理 事	前 野 文 孝
理 事	小 林 辰 美

別紙監査の結果、適法正確である事を認めます。

平成 30年 5月15日

監 事

作 花 良 祐



## 事業計画案

3期目となる2018年度は、WEBサイト「Visit Kinosaki」の更なる集客率の向上を目指すとともに、海外の旅行会社へのアプローチも継続し、外国人述べ宿泊数 62,000人を目指し（2018年目標）とします。

プロモーション方針としては、引き続き欧米豪のプロモーションを展開し、2019年のラグビーワールドカップを見据えた取り組みを進めます。プロモーション効果がでており、伸び率の高いタイについては、これまでどおり積極的にプロモーションを行います。また、独自資源「コウノトリ野生復帰」を活かし、自然関心層へのアプローチを検討、教育旅行需要が見込まれる中国、香港へのプロモーションを行います。

地域を対象とした取り組みとしては、戦略的パートナーの事業育成・事業移管の推進、インナープロモーション（セミナー・交流会の開催、ニュースレターの発行）の強化による観光まちづくりへの参加者（会員）の拡大を図ります。

また、豊岡市が世界に誇るコウノトリの野生復帰の取り組みの裏側を体験していただくコウノトリツーリズムや豊岡市の基盤産業であるカバン産業などと連携した産業ツーリズムの検討、宿泊予約データの共有による宿泊事業者に対するWEB販売の支援、メニューの英語化支援などによる豊岡市街地の飲食店・ホテルのインバウンド対応の促進、といった新たな事業創造にも挑戦します。

2018年度は、キャッシュフロー（派遣人材の人件費が含まれていない状況）としては、プラスを目指します。また、国から支援を受けやすくするため、年度前半には、観光庁が定めるDMO法人に登録します。

設立して3年目を迎えます。地域の稼ぐ力を引き出す原動力になるため、益々チャレンジしていきたいと考えておりますので、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(一社)豊岡観光イノベーション

予定損益計算書

自平成30年 4月 1日

至平成31年 3月31日

単位:円

科目	金額	備考
I 純 売 上 高		
1) Visit Kinosaki 手数料	1,027,900	
2) ツアー等売上高		
・ 着地型ツアー、体験プログラム	1,920,000	
・ ふるさと納税返礼品プログラム	60,000	
・ グループツアー	5,100,000	
・ 出石ツアーバス集約事業	22,500	
・ CSR 活動 支援	1,400,000	
3) 視 察 売 上 高	950,000	
4) 会 費 収 入	1,335,000	小計 11,815,400
5) 委 託 料 収 入		
・ Visit Kinosaki 運用	3,824,000	
・ Visit Kinosaki 閑散期対策事業	1,350,000	
・ 神鍋インハウントプロジェクト	3,005,000	
・ 欧米豪 BtoB マーケティング	918,000	
・ 観光施策評価指標データ収集	1,890,000	
・ 閑散期団体誘客拡大事業	11,000,000	
・ 創業支援セミナー	1,123,000	
・ フラップトヨオカ管理運営	336,750	
	<u>35,262,150</u>	小計 23,446,750
II 売 上 原 価		
1) ツアー関連経費		
・ 着地型ツアー、体験プログラム	1,788,000	
・ グループツアー	4,335,000	
・ CSR 活動 支援	1,110,000	
2) 委 託 料 関 連 経 費		
・ 閑散期団体誘客拡大事業	9,500,000	
・ Visit Kinosaki 閑散期対策事業	750,000	
	<u>17,483,000</u>	
売 上 総 利 益	<u>17,779,150</u>	
III 販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費		
1) 給 料 手 当	4,368,000	
2) 賞 与 手 当	675,900	
3) 法 定 福 利 費	813,800	
4) 広 告 宣 伝 費	3,300,000	
5) 旅 費 交 通 費	3,300,000	
6) 交 際 費	250,000	
7) 会 議 費	150,000	
8) 車 両 費	60,000	
9) 通 信 費	600,000	
10) 水 道 公 熱 費	258,000	
11) 租 税 公 課 費	50,000	
12) 消 耗 品 費	500,000	
13) 共 益 費	240,000	
14) 賃 借 料	1,392,000	
15) リ ー ス 料	700,488	
16) 保 険 料	150,000	
17) 支 払 手 数 料	1,200,000	
18) 諸 会 費	1,350	
19) 減 価 償 却 費	285,244	
20) 委 託 費	6,000,000	
21) 調 査 費	890,000	
	<u>25,184,782</u>	
営 業 利 益	<u>▲ 7,405,632</u>	
IV 営 業 外 収 益		
1) 受 取 利 息	150	
2) 市 補 助 金 収 入	8,000,000	
3) 雑 収 入	100,000	8,100,150
経 常 利 益	<u>694,518</u>	
税 引 前 当 期 純 利 益	<u>694,518</u>	
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 利 益	<u>100,000</u>	
	<u>594,518</u>	